

# ハーモニー

Harmony

第74号 2017年9月10日発行  
日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育講座  
後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491

振替口座：00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

## 目次

第25回学術集会のお誘いと企画紹介……………1	2017年度総会告示……………7
第25回学術集会プログラム……………2	第25回学術集会での「投稿奨励研究」の推薦について…7
学会活動委員会の取り組みの状況……………5	学会誌第21巻第2号投稿原稿の募集……………7
私の県の「ここが特色」②……………5	理事会報告（要旨）……………7
「私の実践と研究」リレー・レポート④……………5	事務局より……………8
パブリックコメントの報告「教育職員免許法施行規則及び免許 状更新講習規則の一部を改正する省令への意見」について…6	編集後記……………8

### 第25回学術集会のお誘いと企画紹介

学会長 河田 史宝（金沢大学）

天候不順の夏でしたが、会員の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。このたび石川県金沢市で開催いたします日本養護教諭教育学会第25回学術集会のご案内と企画紹介をさせていただきます。

メインテーマは、「養護教諭のキャリア形成を考える—学び続ける教員像の実現に向けて—」といたしました。養成・教育行政・学校現場のそれぞれにおいて、養護教諭の資質能力の形成に係る教育・研修がなされています。教職生活の生涯にわたり、自律的に学び続ける養護教諭像の実現に向けて、円滑に連携・協働していくための方策を一緒に考え、深め、今後の養護教諭のキャリア形成につながる学術集会にしたいと考えております。

学術集会第一日目（7日）の午前中は、開催前に理事会主催のプレコンgresとして、「教育改革の中で、改めて養護教諭のこれからを考える」を行います。学術集会最初のプログラムは、「養成機関での学びを深める—現職養護教諭、教育行政との連携—」と題し、基調講演をいたします。次に、特別講演「一歩先を行くチームマネジメントの考え方—経営者の立場から—」と題し、ChatWork株式会社 代表取締役社長山本敏行氏にご講演をいただきます。

次にシンポジウムは、メインテーマと同じテーマで「養護教諭のキャリア形成を考える—学び続ける教員像の実現に向けて—」と題し企画しました。コーディネータは、本学会の後藤ひとみ理事長と塚原加寿子理事にお願いしました。シンポジストは、教育行政、現職養護教諭、養成機関の3名にご発表いただきます。続いて、学会理事から養護実践基準の中間報告を行います。

第二日目（8日）は、一般演題44題（口演22題、ポスター22題）の発表を行います。時間は重なりますが、研究助成金研究発表も1題あります。

総会後には、企業協賛によるランチョンセミナー「てんかんと学校生活」にご参加ください。

午後のワークショップは、「養護教諭の倫理綱領理解のためのワークショップ」「組織を動かす危機管理」「実践の悩みや疑問から研究のヒントを見つける」「こころじ〜心の文字・心の時間・心と自分〜」の4題を企画しました。最後まで活発な討議、交流をお願いいたします。

ワークショップ終了後の金沢駅への移動には、臨時直通バスをご用意いたしました。500円でご乗車できますので、どうぞご利用ください。

金沢には、おいしいものや観光できる場所も多くあります。金沢の秋を、目、耳、口から楽しんで、心も豊かにしてお帰りいただきたいと願っております。実行委員一同が力を合わせて鋭意努力を重ねております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 日本養護教諭教育学会 第25回学術集会プログラム

(2017年8月21日現在)

### メインテーマ「養護教諭のキャリア形成を考えるー学び続ける教員像の実現に向けてー」

期 日：2017年10月7日(土) 12:40～8日(日) 15:30  
会 場：金沢大学 自然科学本館 1階(石川県金沢市角間町)

#### ≪10月7日(土) 9:00～受付 自然科学本館1階≫

プレコングレス(9:30～11:30) 大講義室B ..... 理事会・学会活動委員会  
「教育改革の中で、改めて養護教諭のこれからを考える」

学会長基調講演(13:00～13:30) 大講義室A B ..... 座長 津島 ひろ江(関西福祉大学)  
「養成機関での学びを深めるー現職養護教諭、教育行政との連携ー」  
河田 史宝(金沢大学)

特別講演(13:40～14:40) 大講義室A B ..... 座長 河田 史宝(金沢大学)  
「一步先をゆくチームマネジメントの考え方ー経営者の立場からー」  
山本 敏行(ChatWork株式会社 代表取締役社長)

#### シンポジウム(14:50～16:50) 大講義室A B

「養護教諭のキャリア形成を考えるー学び続ける教員像の実現に向けてー」

コーディネーター 後藤 ひとみ(学会理事長・愛知教育大学)  
塚原 加寿子(学会理事・新潟青陵大学)  
シンポジスト 島崎 慶子(石川県教育委員会事務局 保健体育課)  
竹内 雅子(福井市豊小学校)  
平井 美幸(大阪教育大学)

学会報告(16:50～17:20) 大講義室A B ..... 理事会  
「養護教諭の倫理綱領第13条における養護実践基準の検討について」(中間報告)

懇親会(18:00～20:00) KKRホテル金沢(金沢市大手町)

#### ≪10月8日(日) 9:00～受付 自然科学本館1階≫

研究助成金研究発表(10:50～11:20) 105講義室 ..... 座長 鈴木 裕子(国士舘大学)  
「養護教諭養成教育における養護の本質を理解するための教育プログラムの開発」  
○鹿野 裕美(宮城大学) 他

総 会(11:40～12:40) レクチャーホール

#### ランチョンセミナー(12:50～13:50) 大講義室A B

「てんかんと学校生活」

今高 城治(獨協医科大学)

#### ワークショップ(14:00～15:30)

○ワークショップA 109講義室「養護教諭の倫理綱領理解のためのワークショップ」

講師 古賀 由紀子(九州看護福祉大学)・理事会

○ワークショップB 108講義室「組織を動かす危機管理」

講師 宮本 香代子(岡山大学)

○ワークショップC ワークショップ2「実践の悩みや疑問から研究のヒントを見つける」

講師 編集委員会

○ワークショップD 106講義室「こころじ～心の文字・心の時間・心と自分～」

講師 わ あき子(アトリエ わ)

#### 口演発表I(9:20～11:24) 104講義室

<原論・歴史> ..... 座長 斉藤 ふくみ(茨城大学)

0-I-1 養護教諭の現代的課題に求められる役割と実践基準ー考察その1

○鎌田 尚子(足利工業大学) 他

0-I-2 養護教諭の現代的課題に求められる役割と実践基準ー考察その2

ー健康診断を中心に養護実践と倫理綱領を考察するー

○中村 朋子(茨城大学) 他

<原論・歴史> ..... 座長 北口 和美(姫路大学)

0-I-3 養護教諭の職務に対するニーズに関する研究(第1報)ー保護者からのニーズに関してー

○塚原 加寿子(新潟青陵大学) 他

<養成教育>

0-I-4 養護教諭養成課程における看護学科目の現状と課題

○飯塚 恵美(帝京短期大学)

- <養成教育>.....座長 塚原 加寿子(新潟青陵大学)
- 0-I-5 養護教諭養成教育における看護技術の検討  
○北口 和美(姫路大学)他
- 0-I-6 養護教諭養成における養護学の内容構成に関する考察Ⅱ  
○横島 三和子(相愛大学)他

口演発表Ⅱ(9:20~11:24) 107講義室

- <養護実践>.....座長 松永 恵(茨城キリスト教大学)
- 0-II-1 保健室での子供との会話を可視化する(第2報)―10人の「会話ノート」の分析から―  
○渡辺 誓代(金沢市立泉小学校)他
- 0-II-2 健康相談と関連して展開した生活習慣の改善を必要とする生徒に対する中学校養護教諭による個別の保健指導  
○難波 知子(川崎医療福祉大学)他
- <養護実践>.....座長 鈴木 薫(就実大学)
- 0-II-3 養護教諭による子どもの不定愁訴への対応を構成する因子の検討  
○松永(金田) 恵(茨城キリスト教大学)
- <養成教育>
- 0-II-4 養護教諭をめざす学生のセルフエスティームの向上をめざしたライフスキル教育プログラムの作成  
○池田 真理子(関西福祉大学大学院)他
- <養成教育>.....座長 上村 弘子(岡山大学)
- 0-II-5 教職実践演習「保健室経営計画の立案」の授業構成の検討  
○米嶋 美智子(川崎医療福祉大学)他
- 0-II-6 ケースメソッド教育を取り入れた教育実践演習(中等)の試み  
○鈴木 薫(就実大学)

口演発表Ⅲ(9:20~11:24) 105講義室

- <養成教育>.....座長 小林 央美(弘前大学)
- 0-III-1 養護実習における養護教諭の指導上の困難とニーズ  
○高田 恵美子(畿央大学)他
- 0-III-2 学生の現場体験活動経験の有無による養護実習での学びの相違と進路形成への影響における一考察  
○井 美希(横浜高等教育専門学校)他
- <養成教育>.....座長 葛西 敦子(弘前大学)
- 0-III-3 養護教諭養成課程に在籍する学生の養護教諭志向に関する意識変容プロセス  
○今 優佳(千葉市立宮崎小学校)他
- 0-III-4 養成段階における養護教諭への志向性の変化と大学生活  
○高田 敦子(岡山大学大学院)他

口演発表Ⅳ(9:20~11:24) 108講義室

- <組織活動>.....座長 西岡 かおり(四国大学)
- 0-IV-1 小学校教職員対象のシミュレーションを活用した救命講習  
○工藤 純子(平川市立猿賀小学校)他
- 0-IV-2 組織を活かす養護教諭の取り組みに関する一考察  
―熟年および若手養護教諭対象のフォーカスグループインタビューを通して―  
○三次 章江(茨城県立水戸第二高等学校)他
- <組織活動>.....座長 加藤 晃子(滝学園滝中学校滝高等学校)
- 0-IV-3 小学校における救急対応の異なる職員間の視点のズレに関する研究  
―管理職・担任・養護教諭の対応に注目して―  
○加藤木 藤子(青山学院大学大学院)
- 0-IV-4 養護教諭とSSWの連携における連携促進要因の検討  
―養護教諭のコーディネーター的役割に焦点を当てて―  
○井口 美雪(長野市立徳間小学校)
- <現職教育>.....座長 中下 富子(埼玉大学)
- 0-IV-5 他者からの評価がキャリア発達に及ぼす影響―「公開と批判」の経験から―  
○酒井 都仁子(千葉市立土気小学校)他
- 0-IV-6 養護教諭の実践力向上を図る事例検討会方法の提案  
○大塚 純子(上越市立保倉小学校)他

ポスター発表Ⅰ(9:20~11:24) アカデミックプロムナードA

- <養成教育>.....座長 竹内 理恵(徳島文理大学)
- P-I-1 微生物学実験を開講している養護教諭養成課程における感染に関する基礎医学系科目の構成と内容の検討  
○伊藤 道子(北里大学看護学部)他
- P-I-2 大学生が受講する「学校保健論」におけるアクティブ・ラーニング型授業「LTD話し合い学習法」の実施と効果の検討  
○古角 好美(大和大学)

<養成教育>.....座長 山田 玲子 (北海道教育大学)

- P-I-3 専門職的自律性を養うボランティア活動に関する研究 (第2報)  
—小学生に対する朝ごはんについての保健指導の取組を中心に—  
○竹内 理恵 (徳島文理大学) 他
- P-I-4 養護教諭志望学生の「保健室ボランティア」による力量形成に関する研究 (2)  
—養護教諭のインタビュー調査結果から— ○江崎 和子 (園田学園女子大学)

<養成教育>.....座長 山崎 隆恵 (北海道教育大学)

- P-I-5 養護実習における自己評価の分析 (第1報)  
○上原 美子 (埼玉県立大学) 他
- P-I-6 養護実習の学びの構造—教職実践演習内容の分析から—  
○岩田 浩子 (城西国際大学看護学部) 他

#### ポスター発表Ⅱ (9:20~11:24) アカデミックプロムナードA

<養成教育>.....座長 大川 尚子 (関西福祉科学大学)

- P-II-1 教育系養護教諭養成大学の「看護学」領域の科目に関する検討  
○廣原 紀恵 (茨城大学) 他
- P-II-2 看護系大学における救急処置の授業実践と評価  
—救急処置から個別指導や組織的対応へ多面的思考を促す主体的学修をめざして—  
○加納 亜紀 (聖泉大学看護学部) 他

<保健管理>.....座長 廣原 紀恵 (茨城大学)

- P-II-3 過換気発作における養護教諭の対応  
—小・中・高・特別支援学校に在籍する養護教諭の質問紙調査に基づいて—  
○大場 真紀子 (埼玉大学教育学研究科) 他
- P-II-4 健康相談活動における小学校養護教諭の言語的支援と困難感  
○八木 智子 (大阪教育大学大学院) 他

<その他>.....座長 松枝 睦美 (岡山大学)

- P-II-5 女子学生のやせ願望について(I)—ダイエット経験とその効果—  
○新沼 正子 (安田女子大学) 他
- P-II-6 女子学生のやせ願望について(II)—現状の体型の自己評価—  
○平松 恵子 (びわこ学院大学) 他

#### ポスター発表Ⅲ (9:20~11:24) アカデミックプロムナードA

<健康教育>.....座長 上原 美子 (埼玉県立大学)

- P-III-1 小中学校に勤務する養護教諭が抱える性教育に対する思い  
○大塚 朱美 (千葉科学大学) 他
- P-III-2 熱中症の予防や対応について習得し、実践できる生徒の育成  
○寺本 豊子 (一宮市立千秋中学校)

<組織活動>.....座長 鎌塚 優子 (静岡大学)

- P-III-3 子供の健康管理における地域連携の重要性に関する一考察  
○鍋島 翔子 (大阪人間科学大学) 他

<養護実践>

- P-III-4 養護教諭の行う健康相談における省察の効果—プロセスレコードの分析を通して—  
○井浦 貴子 (新潟県立村上高等学校)

#### ポスター発表Ⅳ (9:20~11:24) アカデミックプロムナードA

<その他>.....座長 辻 立世 (藍野大学短期大学部)

- P-IV-1 保健室における子どもにまつわるデータ入出力支援システムの構築  
○生野 真江 (相愛大学) 他
- P-IV-2 中学校・高等学校時の女性アスリートの三主徴の実態  
—女子大学生への質問紙調査と面接調査による一考察—  
○新山 千里 (鹿角市立草木小学校) 他

<その他>.....座長 後藤 多知子 (愛知みずほ大学)

- P-IV-3 定年退職養護教諭における新任時代の困難感  
○上原 美子 (埼玉県立大学) 他
- P-IV-4 男性養護教諭に関する意識調査 第2報  
○大川 尚子 (関西福祉科学大学)

<その他>.....座長 工藤 宣子 (千葉大学)

- P-IV-5 看護学に活かすアロマセラピーの可能性  
○城戸 裕子 (愛知学院大学)
- P-IV-6 大学生の生活習慣づくりのためのウェアラブル・デバイス活用に関する研究  
○向山 世璃子 (大阪人間科学大学) 他

## 学会活動委員会の取り組みの状況

学会活動担当常任理事 三木とみ子

### 1. プレコングレスの企画と実施

今年度のプレコングレスは2017年10月7日(土)午前9時30分～11時30分に実施します。テーマは「教育改革の中で、改めて養護教諭のこれからを考える」です。今、学校現場では「学習指導要領の改訂、コミュニティスクール、チームとしての学校(学校の組織運営改革)、これからの教育を担う教員の資質向上の改革等、戦後最大と言われる教育改革が進んでいます。これらについて養護教諭はどのように捉え、どのような実践を展開するか等について語り合う機会にしたいと思います。どうぞ奮ってご参加ください。

### 2. 養護教諭の専門領域の用語に関する解説集の見直し

<見直しの趣旨>現在の解説集第二版は2012年10月1日に発行しました。その後、教育界は大きく変化し様々な法改正がなされようとしています。また、学習指導要領も改訂され、時代の変化に合わせた用語集の見直しの作業が必要と考えます。

<作業>会員向けの調査を実施し、その意見を踏まえ、第二版見直し作業に携わった方々にも加わっていただいで進める予定です。○新規に追記したい用語の選択、○用語の定義及び解説等の見直し作業、○総会時に中間報告(予定)を考えています。

## 私の県の「ここが特色」⑳

### 「養護教諭協会とともに歩んで」

竹内 理恵(徳島文理大学)

徳島県の一番の特色は、県内のほとんどの養護教諭が会員となっている徳島県養護教諭協会という組織があることです。この組織は、小学校教育研究会養護部会、中学校教育研究会養護部会、高等学校教育研究会養護学会(以下各教研と略す)の3つの教育研究団体が一丸となって、自分たちの資質の向上のために研修・研究に取り組むものです。その代表の協会長は、各教研の養護教諭の代表が二年毎に交代で務めています。主な活動内容は、次の2つです。

1つ目は、夏季養護教諭研究大会の開催です。大会では、各教研からそれぞれ研究を1つ発表し、それに対して全体で研究協議が行われます。小・中・県立学校のそれぞれの立場から、将来の発達を見据えた活発な協議がなされる貴重な機会となっています。併せて、現代的な健康課題の解決に向けて、県外から講師を迎えて講演が行われます。この協会の活動は、県内の養護教諭のネットワークづくりにも役立っています。

2つ目は、研究誌「あしあと」の発刊です。毎年2月末に発刊し、現在第62号を数えています。内容は、夏季養護教諭研究大会の研究発表のまとめ、各教研の活動状況の報告、各教研が継続して研究している「健康診断結果のまとめ」や「保健室の執務月報のまとめ」などです。協会と各教研の活動の成果を一冊にまとめ

た貴重な資料です。この研究誌は、会員の養護教諭に配付するだけでなく、県・市町村教育委員会、図書館等の関係機関に配付し、広く養護教諭の活動の理解を図っています。

また、この研究誌の創刊号は、昭和31年に発刊され、協会長の責任において、長きにわたり徳島県の養護教諭の歴史を刻み続けています。

さて、筆者は平成24・25年度の2年間協会長を務めました。その後退職して、現在は県内の養護教諭を養成する大学に勤務しています。協会長の時には、退職者の増加に伴い、新規採用者が増えてきた頃でした。若手の養護教諭が多くなる中で、経験に裏付けられた確かな実践力をどう引き継ぐかが問われ、研修の充実を各教研や協会で図りました。

現在も全体の3分の1が、採用後5年以下の養護教諭で占めるほどになっています。そこで、研修の充実の一助として、勤務している大学の施設・設備を利用した研修会を開催したり、養護教諭志望の学生を保健室ボランティアに行くようにしたりして、協会と大学が連携した活動を進めています。

今後も、徳島県の養護教諭の発展を祈っています！

## 「私の実践と研究」リレーレポート⑳

### 「国際スクールナース学会(SNI)から見たこと」

新谷ますみ(弘前大学)

今年7月24日(月)から28日(金)までの4日間、国際スクールナース学会(SNI)が米国カリフォルニア州立サンフランシスコ大学(SF State)に於いて開催され、私は、弘前大学名誉教授 面澤和子先生の他2名の教授と共に参加しました。

サンフランシスコは、日本と歴史的に深い縁がある都市です。比較的治安がよく、ゴールデンゲートブリッジや坂の多い美しい街並みも、観光地として人気があります。州立大学の敷地内に留学や研修者のためのアパートメントハウスがあり、そこにエチオピアから参加したタフィさんを交えて、5人で共同生活をしながらの学会参加でした。タフィさんからは遠いエチオピアの小・中・高等学校の状況を聞くことができました。

学会には、世界18ヶ国の“School Nurse”や学校保健関係者が約140名集い、4日間びっしりと研究成果のプレゼンテーションが行われました。特に、“Abuse”(虐待)などの問題、先進的な“Health Education”(健康教育)の取組はとても興味深いものでした。最も衝撃的だったのは、学会の最後の日に行われた講演“Trafficking(誘拐)”の問題でした。特に、子供が性的搾取を目的に人身売買される、“Sex Trafficking”について、子どもの健康問題として取り上げられていることに驚きを隠せませんでした。日本では騙されてAV(アダルトビデオ)の出演を強要されたという昨今の事件が比較的類似しているかと思われましたが、諸外国ほどこのような問題に対する認識は高まっていません。参加したスクールナースは、

## 「教育職員免許法施行規則及び免許状更新講習規則の一部を改正する省令への意見」について

理事長 後藤ひとみ

みだしの意見募集が本年8月25日（金）を期限として行われました。本学会では、これまでに文部科学大臣等に要望してきた内容をふまえて下記6項目の意見表明を行いました。なお、本稿では紙面の都合上、要点の報告としましたことをご了解下さい（全文は学会誌や学会HPに掲載予定）。

1. [別表1]「教育の基礎的理解に関する科目」について；「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）」では、教員は学校安全同様に学校保健についても学ぶ必要があることから、学校安全に学校保健を並記する。
2. 第三欄「教育の基礎的理解に関する科目」に関する[別表1]の備考三、[別表2]及び[別表3]の備考二の説明について；「教育の基礎的理解に関する科目（特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解に係る部分に限る。）は一単位以上を修得するものとする。」と明示したことを評価する。今後の課程認定では内容面の適正を確実に審査してほしい。
3. [別表2]の第一欄「養護及び教職に関する科目」と第二欄「養護に関する科目」という表記について；これまで同様、栄養教諭の履修内容は「栄養に係る教育」と表記されている。置かなければならない養護教諭は置くことができる栄養教諭以上に教育の役割を担ってきた。「養護に係る教育」「養護に係る指導」「健康に係る教育」などとして、教育を担う職として学ぶ内容があることを明示してほしい。
4. [別表2]の第四欄「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」について；[別表1]の第四欄で、教諭は「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」であるのに対し、養護教諭は内容に留まっている。学校保健安全法の改正によって保健指導等に果たす養護教諭の役割が大きくなっている状況からも、教諭に準じて指導を付記してほしい。
5. [別表2]の二種免許状の単位取得について；教育職員免許法の別表第二（第五条関係）では、二種免許状取得の基礎資格である保健師免許所有者に該当する「ロ」「ハ」では、現行の「養護に関する科目」「教職に関する科目」「養護又は教職に関する科目」は空欄である。中央教育審議会答申等における質向上の観点から、「養護に関する科目」や「教職に関する科目」に最低取得単位数を設定すべきである。
6. 今回の養護教諭関係の改正案全体について；養護教諭免許状の改正は、現代的な教育課題や健康課題に対応した資質能力の育成が喫緊の事項であるにもかかわらず検討されていない。早急に教諭のような議論を行い、現代の養護教諭にふさわしい内容に改

この問題に対する関心が高いことから、深刻化しているのではないかということが推察されました。講演によると、本来ならば、自分を大切にしてくれるはずの家族や恋人などによっても、少女らが騙されるということ。背景には、ネグレクト、薬物、貧困などの生活環境があります。被害を受けている子供や若者は、人身売買組織に対して抵抗する能力はなく、どうすることもできずにいる状況であり、外部からの救助、法の執行、直接介入などの強い行動が必要であることが述べられていました。日々、健康問題を持つ子供達に関わっているスクールナースにとっては、大きな心配事なのでしょう。講演が終わった後も、多くの人が講師を囲み、会話を続けていました。私も質問したいことが多々ありましたが、語学力の無さのため、断念せざるを得ませんでした。（涙）

日本においては、このような海外事例はTVで、ニュースや報道としてではなく、衝撃映像など、信じがたい事件を扱う番組として放映されています。何か他人事のように見ていた自分に気づかされました。しかし、学会に参加した人々の関心の高さを目の当たりにし、身近にある現実の出来事であり、子どもたちの健康・安全が日常的に脅かされている国があることを実感しました。

面澤和子名誉教授の研究発表テーマは、“Curriculum Development of Health Education for Lower Grade Student and Yogo Teacher Involvement in Japan”でした。日本の学校における健康教育のシステムについて、小学校低学年の健康教育カリキュラムがない現在、養護教諭が保健指導を各校独自に行い、大きな役割を果たしていること、2017年の改訂ではなされなかったが、この学年での健康に関する体系的な科目の確立の必要があることを述べていました。参集した各国のスクールナース他関係者は、日本の学校保健システムに関心が高く、養護教諭の役割についても、発表後に詳細を質問する人がいました。日本の学校保健システムや養護教諭の教育実践について、今後も継続して世界に発信していくことが望まれます。

日本の子供のみならず、世界の子供の健康と安全を願い、健やかに成長・発達できる良い教育環境をつくるために、改めて尽力していきたいと感じる機会でした。



正すべきである。

なお、日本養護教諭関係団体連絡会からは、教職課程のコアカリに関して出したパブコメをもとに、上記の1と6を提出しました。

## 日本養護教諭教育学会2017年度総会告示

理事長 後藤ひとみ

下記の日程で2017年度総会を開催致します。

欠席される方は、同封の委任状を9月30日(土)必着にてお送り下さい。

- ☆日 時：2017年10月8日(日) 11:40~12:40  
☆場 所：金沢大学自然科学本館  
☆議 題：1. 2016年度事業報告  
2. 2016年度決算・監査報告  
3. 2017年度事業経過報告  
4. 2017年度補正予算審議  
5. 2018年度事業計画  
6. 2018年度予算審議  
7. 会則等の規定改正  
8. 投稿規定の改正  
9. 研究助成金研究の選定  
10. 第VIII期理事選出選挙結果について  
11. 第27回学術集会(2019年)の開催地  
12. その他

### 第25回学術集会での「投稿奨励研究」の推薦について

学術担当常任理事 鈴木 裕子

一般演題の中から学術集会学会長、座長、理事の推薦に基づき「投稿奨励研究」を選定します。特典として査読費用7,000円が免除されます。養護教諭教育の発展につながる演題発表を期待しています。

なお、前号で示した『研究助成金研究』の応募締切は9月10日です。積極的なご応募を期待しております。

### 学会誌第21巻第2号の投稿原稿の募集

(2018年3月発刊予定)

編集委員 山崎 隆恵

本学会誌は創刊より第21巻を迎えることになりました。2011年度の第15巻より年2回発刊となり、年々会員の皆様からの投稿論文が増えてまいりました。誠にありがとうございます。養護教諭や養護教諭を目指す人が、互いに学び合い成長していく糧となる学会誌を目指しております。会員の皆様が課題意識を持って取り組まれた実践や研究を投稿していただくことに、編集委員会として喜びとやりがいを感じながら編集作業を進めています。

本学会誌は、年度中2回(9月末と3月末)発刊しています。投稿原稿の受付は、毎年度9月末に発刊する第1号への掲載文は3月31日(消印有効)、毎年度

3月末に発刊する第2号への掲載文は9月30日(消印有効)です。第21巻第2号(2018年3月末に発刊予定)への掲載を希望されている会員の皆様は、2017年9月30日が投稿期限となっていますので、ご準備ください。なお、9月末まで待たずに早めに投稿いただけると、査読や修正に十分な時間がとれ、受理・掲載がスムーズに進みます。編集委員会では、よりよい論文となるよう査読と修正を繰り返す場合がありますので、会員の皆様にはご理解をいただき、ご協力をお願い致します。

ここ数年の編集委員会において、学校現場の実践に即した論文、実践と理論との往還に関わる論文への期待が生まれています。昨年度の第24回学術集会で発表された研究、また今年度の第25回学術集会で発表される研究を論文としてまとめ、投稿いただくこともご検討ください。なお、査読と修正に大幅な時間を要する場合は、次号に持ち越しになる場合がありますので、ご承知おきください。

投稿される際には、投稿規程および投稿原稿執筆要領(第20巻第2号pp.125-130)をお読みいただき、十分に推敲した原稿をご投稿ください。また、投稿時のチェックリスト(同p.132)をご使用いただくことで、確認ができるようになっています。

学会誌は学会の顔になります。課題意識を持たれた凛々しい皆様のお顔と英知を結集した刊行物です。論文投稿を心からお待ちしております。

<編集委員会事務局>

〒310-8512 水戸市文京2丁目1番1号

茨城大学教育学部保健教室

斉藤ふくみ

TEL/FAX 029-228-8298(研究室直通)

E-mail:fukumi.saito.naru@vc.ibaraki.ac.jp

## 理事会報告(要旨)

総務担当常任理事 古賀由紀子

<2016年度第4回理事会>

- 1 日 時 2016年12月23日(金) 10:00~16:30
- 2 場 所 名古屋国際センター5階 和室
- 3 出席者 後藤、大川、加藤、河田、古賀、小林、斉藤、鈴木、塚原、圓岡、三木、宮本(欠席者：森)

4 議 事

- 1) 第3回議事録(案)の承認
- 2) 第24回学術集会および2016年度総会の総括演題発表のタイムスケジュール配分等の運営事項の反省点について次期学術集会へ申し送ることを承認した。
- 3) 2016年度活動経過報告  
各委員会より報告がなされ、学会活動委員会からの「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集」の見直しについての提案は、今後検討することで承認した。

学会誌編集委員会からの論文種類の判定基準案

は編集委員会で再検討することを確認された。

- 4) 養護教諭関係団体連絡会等の状況について  
理事長より第3回理事会以降の活動について報告がなされた。
- 5) 第25回学術集会の進捗状況

#### <2017年度第1回理事会>

- 1 日時 2017年4月9日(日) 10:30~17:00
- 2 場所 名古屋国際センター・和室
- 3 出席者 後藤、加藤、河田、古賀、小林、斉藤、鈴木、塚原、圓岡、三木、宮本、森  
(欠席者：大川)
- 4 議事
  - 1) 第4回議事録(案)の承認
  - 2) 2016年度年間活動の確認
  - 3) 2016年度総括
    - ①理事長より、事業計画・重点活動の達成状況について報告があり、第VII期で提示した課題への対応で不十分な部分について責務を果たしていくことが示された。
    - ②総務担当より、会員数や今年度の会費納入率、HPへの目次(抄録集、学会誌、20周年記念誌)と用語の解説集第二版のアップ完了が報告された。
    - ③学会誌編集担当より、査読者リストの作成及びQRコードの認定が報告された。
    - ④学術担当より、「学術集会Q&A」を第24回学術集会HPに掲載し、当日も資料配布して好評だったこと等が報告された。
    - ⑤学会活動担当より、「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集」の見直しについて検討中であることが報告された。
  - 4) 養護教諭関係団体連絡会の状況について  
理事長より昨年12月24日以降の活動について報告がなされた。
  - 5) 2017年度活動計画
    - ①理事長より、会員の増に努めること、学術集会の演題と区分の検討、専門性を支える学問構造の検討、養護教諭教育プログラムの具体化に着手すること、科研費の申請項目枠の要請をすること等が示された。
    - ②総務担当より、学会会則の見直しを進めること。会費徴収率を高めることが示された。
    - ③学会誌編集担当より、論文種類の判定基準について継続して検討することが示された。
    - ④学術担当より、学術的な活動成果の蓄積・見える化が示され、過去のデータ(学会名の英語表記と解説、演題区分、倫理綱領等)をHPにアップすることを承認した。
    - ⑤学会活動担当より、プレコンgres企画や用語の解説集の見直し作業の工程が提案され承認した。
  - 6) 会則の見直しについて  
見直し案は9月のハーモニーで事前に会員に示

して意見を求め、10月の総会で協議することを承認した。

- 7) 第25回学術集会の進捗状況
- 8) 養護教諭の倫理綱領「養護実践基準」の検討  
理事の役割分担を決めて作業を進めることを確認した。

## 事務局より

圓岡 和子(事務局長)

### ●委任状の提出をお願いします

2017年度総会に欠席される方は委任状の提出をお願いします。同封した委任状に必要な事項をご記入の上、62円切手を貼って9月30日(土)必着にて事務局へお送り下さい。

### ●学術集会内に事務局ブースを開設します

第25回学術集会の会場内に本部事務局を開設します。年会費の納入、新入会の受付、会員登録の変更などの諸手続きができます。まだ年会費を振り込まれていない方はご利用下さい。また、通常は非売品としている第9巻第1号以降の学会誌も学術集会中に限り販売します。学会員以外の方も購入できます。

### ●年会費の納入をお願いします

年会費を支払っていない方は、できるだけ早く納入してください。

### ●住所等変更は早めに連絡を!

転勤・就職などで連絡先が変更になった方は、メールかFAXにて事務局まで速やかにご連絡ください。特に学会誌等の届け先が勤務先の方は、転勤・転職が決まりましたらご一報下さい。

なお、FAXの場合は送信時のオモテ・ウラにご注意ください。(年に1件程度白紙が届きます。)

## 編集後記

西日本では例年通りの猛暑の夏でしたが、関東から北の地域では、不安定な天候の夏だったようですね。会員の皆様いかがお過ごしですか?

8月5日に第8回男性養護教諭研修会が兵庫県加古川市で開催されました。今回は多くのマスコミの方が取材に訪れていましたので、報道をご覧になられた方がいると思います。

全国の養護教諭・養護助教諭約4万人のうち、男性養護教諭はわずか65人(平成28年文科省)だそうです。その研修会で特別支援学校に勤務する男性養護教諭が、「生徒や保護者より、むしろ教職員の方が気にしていると報告されていました。同じ養護教諭として、まずは女性養護教諭が理解をしていくことが大切だと感じました。詳細は、毎日新聞のニュースサイトでご覧いただけます。

<https://mainichi.jp/articles/20170810/k00/00m/040/197000c>  
新学期が始まりました。子どもたちの健康管理と共に、先生方もお身体に十分ご自愛ください。(N.O)